

首都大学東京 法科大学院
平成23年度 3年履修課程

小論文 試験問題
(平成22年12月4日実施)

試験時間 午前11時30分～午後1時30分

受験に当たっての注意事項

- (1) 受験中は、机の右上に、①大学入試センターが実施した平成22年度適性試験受験票又は日弁連法務研究財団が実施した2010年度法科大学院統一適性試験受験票及び、②本学受験票を置いて下さい。
机上には、上記受験票及び筆記用具、消しゴム、鉛筆削り、時計、眼鏡以外の物を置くことはできません。
- (2) 筆記用具は、HB又はBの鉛筆に限ります(シャープペンシルの使用は認めません)。これ以外の筆記用具を用いた場合は0点として採点します。
なお、マーカーや定規の使用も認めません。
- (3) 携帯電話は身につけず、必ず電源を切って、鞆等の中にしまってください。
携帯電話を時計として用いることはできません。
- (4) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- (5) この問題冊子は表紙を含めて7頁あります。問題冊子を破いたり、ホチキス止めをはずしたりしてはいけません。
- (6) 答案用紙の所定の欄に、受験番号及び氏名を必ず記入して下さい。
なお、所定の欄以外の場所に氏名を記載するなど特定人の答案であることが明らかとなるような行為は一切禁止します。
- (7) 答案用紙は、1枚(両面記載)のみ配布しますので、汚損しないよう注意して下さい。
答案用紙の裏面に記載するときは、用紙の向き(上下)に注意して下さい。
- (8) 試験室では監督員の指示に従ってください。不正行為があった場合又は監督員の指示に従わなかった場合には、失格となります。
- (9) 試験終了時刻までは、試験室から退出することはできません。
なお、他の受験者の受験の妨げとなる行為が認められた場合には、監督員が、試験時間中であっても試験場からの退出を命ずることがあります。

【問題】 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

— 文章略 —

(三谷太一郎「裁判員制度と日本の民主主義」法律時報 77 巻 4 号 52-56 頁, 2005 年)

*出題の都合上, 本文の一部を省略した。

【設問】

筆者はトクヴィルを引用し、下線部において「政治制度」としての陪審制は、それが民主主義的であるとともに、それによって自由が体现されていなければならない」と述べている。

問題文の内容に即して、①裁判員制度が「政治制度」であるとはどういうことか、そして、②裁判員制度が、民主主義的であるだけでなく「自由」を体现する制度であるとはどういうことか、あなたの言葉で、1,200 字以内で説明しなさい。